

広報まちだ 定期掲載記事

「みんなでつくる 未来の場」<sup>かたち</sup>

2017年11月1日号

みんなでつくる 未来の場①  企画政策課 ☎724・2103

公共施設の再編に向けた取り組みを始めています

市では、公共施設の老朽化や厳しい財政状況を見通し、必要な公共サービスを将来にわたって維持していくため、公共施設の再編に向けた取り組みを進めています。

来月から定期的に公共施設に関する情報や、再編に向けた取り組みをシリーズで紹介します。

公共施設の未来を一緒に考えていきましょう。

2017年12月1日号

みんなでつくる 未来の場②  企画政策課 ☎724・2103

公共施設の再編に向けて

公共施設の老朽化と、人口減少・高齢化等に伴う財政難が問題になっています。これらに対応していくため、市では、2016年3月に「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」を策定しました。

計画では、学校や図書館、市民センターなど町田市の公共施設をどのような方針で維持管理していくかを定めています。目指すべき姿として「経営的視点に立った管理運営」と「新たな価値の創出」を掲げ、その実現のために建物の総量を減らしていくことや、民間等との連携を強化していくことなどの4つの基本方針を示しています。

現在策定を進めている「(仮称)町田市公共施設再編計画」は、この基本計画の方針に基づき、進めていく取り組みを示すものです。  
※12月8日まで、市庁舎1階エスカレーター前で、公共施設再編に関するパネル展示「知ってる??公共施設再編」を開催しています。

公共施設の未来を一緒に考えていきましょう。

2018年1月1日号

みんなでつくる 未来の場③  企画政策課 ☎724・2103

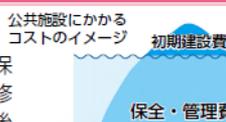
公共施設を維持するには多額のコストがかかります

試算(※)では、今、町田市にあるすべての公共施設を改修または建て替えた場合、年間平均約104億円が必要となります。これは、現在かかっている約68億円と比べると、1.5倍にもなります。

今後ますます厳しくなる財政状況の中では、今ある公共施設をすべて残していくことは困難であることを想定し、施設の再編を進めなければなりません。 ※出典「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」

ここがポイント!

公共施設を安全で快適な状態に保つためには、定期的な建物の改修や設備の交換、管理費等、建てた後も多額のコストがかかります。



公共施設の未来を一緒に考えていきましょう。

2018年1月15日号

みんなでつくる 未来の場④  企画政策課 ☎724・2103

これからの公共施設のあり方を考えてみましょう

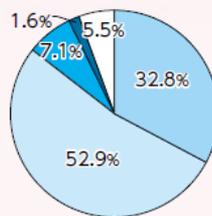
市では、公共施設の老朽化や厳しい財政状況を見通し、必要な公共サービスを将来にわたって維持していくため、公共施設の再編に向けた取り組みを進めています。

これまで公共施設に関する市民アンケート(※)を、2015年9月～10月と2017年6月～7月の2回にわたり実施しました。今回はその中から一部を紹介します。

※無作為抽出した15歳以上の町田市民3000人を対象に郵送で実施。

○設問A

将来を見据えて公共施設のあり方を見直していく(町田市全体の施設総量を削減することも含む)ことについてどうお考えですか?



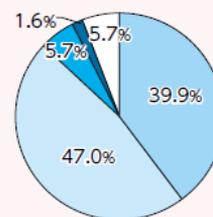
- 積極的に見直すべきである
- 将来の状況を踏まえると見直すことはやむをえない
- 見直すべきでない(公共施設は今までどおり維持すべき)
- 見直すべきでない(公共施設はもっと増やすべき)
- 無回答

多くの人が見直さないといけないと思っているね。



○設問B

さまざまなサービスや活動の拠点とするにふさわしい建物を優先的に維持・保全していくことについてどうお考えですか?

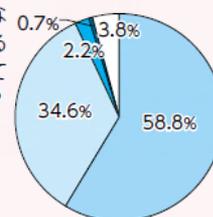


建物の立地や大きさ、敷地の広さなども拠点にふさわしいかの基準になるわね。



○設問C

1つの施設を1つの機能だけでなく、多用途・多目的・多世代で利用する多様なサービスや活動の拠点にしていくことについてどうお考えですか?



みんながいるいるなことに使える施設にしていけないといけないな。

今ある公共施設すべてを残していくことはできませんが、これからの時代に対応したより良いかたちを実現できるよう、みんなでアイデアを出して取り組みにつなげましょう。

公共施設の未来を一緒に考えていきましょう。

ご意見は企画政策課 (☎mcity3270@city.machida.tokyo.jp) で受け付けています。